

## 啓真館増築棟

(同志社国際中学校・高等学校)



竣工日 2014年8月29日

2015年4月から、国際学院初等部の卒業生を受け入れるにあたり、より細やかな教育を行うため、特別教室および習熟度別授業用教室を中心に、啓真館の増築棟として建設しました。

1. 『中庭』を設けた『ゆとりと潤い』のある空間づくり。既存校舎との間にバッファゾーンとなる中庭を設けることで、それぞれの学習環境を保つとともに、新たな交流の場をつくりだしています。

2. 『光』と『風』の感じられる省エネに配慮した空間づくり。環境への負荷を低減するために、自然通風・採光・高断熱化など施設面での取り組みを実施することで高品質な環境を実現しています。明るい廊下や階段、風の通り道となる吹き抜け空間、断熱性に優れた複層ガラス、そして木質化による豊かな温かい雰囲気の下と教室を計画しました。

3. 『勾配屋根』を生かしたデザイン構成。コミュニケーションセンターを中心とし、同志社大学、女子大学の建物との調和も配慮して、勾配屋根とレンガタイルを用いたデザイン構成を行いました。街路に面した部分は、シンボル性と景観調和に配慮されたデザインとし、象徴的なガラスの階段室が擁壁の圧迫感を軽減させています。

今回の増築棟配置計画により、校地の東側と南側をスポーツゾーンとし、その他はアカデミックゾーンとして区分することが可能となり、機能的になりました。コミュニケーションコンプレックス(コミュニケーションセンター、プラザ、ホール、カフェ、教員室)を中心に、北側に高校教室棟と新校舎、南側に中学教室棟を配置。それぞれのスポーツエリアには、校内の移動でアクセスでき、合計4カ所の更衣室を完備しました。特別教室も、さまざまな学校活動に対して対応できる、非常にバランスのとれた配置となり、豊かな学習環境が整いました。